

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 軽症脳梗塞患者の退院後の座位行動と再入院の関連

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 芦澤遼太 (リハビリテーション部・理学療法士)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：研究実施承認後～2024年3月31日

目的：退院後の座位行動がその後の再入院に影響するかどうかを明らかにすることです。

方法：カルテ情報を用いた後ろ向き観察研究です。

■ 対象となる患者

聖隷三方原病院において「軽症脳梗塞患者の身体活動量向上プログラムの開発—座位行動の減少を促す介入効果の検証— [研究番号：19-46]」(2019年11月18日実施承認)に登録された患者さんを対象にします。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：2021年10月31日以降の再入院の有無。再入院に至った疾患名、入院日、入院日数、退院先(自宅・転院・施設)

「軽症脳梗塞患者の身体活動量向上プログラムの開発—座位行動の減少を促す介入効果の検証— [研究番号：19-46]」で収集した項目。

年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、入院期間、NIHSS\*、MMSE\*\*、婚姻歴を含む同居人数、就労状況、過去一年間の転倒歴と転倒回数、喫煙の有無、飲酒の有無、慢性疼痛の有無、疼痛部位数、犬の飼育の有無と犬の散歩の実施の有無、自動車運転・乗車時間、座位行動や身体活動量のデータ等。

\*脳卒中神経学的重症度の評価スケールとして世界的に最も広く利用されている評価の一つです。

\*\*認知機能を評価する検査です。

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院  
芦澤遼太、リハビリテーション部

(様式 17)

研究番号	第 22-59
------	---------

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971